

町田市無電柱化推進計画（案） 市民意見募集の結果概要と市の考え方

1 市民意見募集の結果概要

実施期間 : 2020年2月1日（土）から2月14日（金）まで
 意見応募者数 : 9名
 意見件数 : 18件
 賛否 : 賛成 4名 反対 0名 その他 5名

2 市民意見の概要と市の考え方

【賛成】

	意見の概要	市の考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> ・無電柱化は進めて欲しい。 ・フランスなどでは円形交差点がほとんどです。信号が不要ですから柱もない、今後この様にしたらと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・円形平面交差点のうち環道の交通が優先される環状交差点（ラウンドアバウト）は、街路灯や標識柱を除き電柱の削減が可能です。 ・今後行う設計や整備の際、参考にさせていただきます。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・無電柱化は早急に実施する必要がある。 ・防災、安全及び景観の観点から、原町田中央通りをはじめとする中心市街地は、歩行者が多いため、一刻も早い無電柱化が求められます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、原町田中央通りの無電柱化に向け検討を進めております。 ・事業化にはいくつもの課題と時間を要しますが、引き続き、ご理解とご協力をお願いします。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・無電柱化は（おおむね）賛成。 ・無電柱化がしやすい箇所を優先的に整備してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備効率の良い路線や整備効果の高い路線を優先的に整備する予定でございます。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・無電柱化は大いに進めるべきと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・推進計画を策定し、無電柱化を進めてまいります。

【反対】

なし

【その他】

	意見の概要	市の考え方
1	<ul style="list-style-type: none">・無電柱化をして、歩行空間の安全性が増し、良好な景観が形成されると、商店街に多くの人を呼び込むことができるのではないか。	<ul style="list-style-type: none">・安全で快適な通行空間の確保や魅力的な都市景観の創出は、中心市街地へ訪れる来街者への魅力の一つと考えております。
2	<ul style="list-style-type: none">・電柱の方が管理しやすいところを無理して無電柱化すると、管理コストが増すのではないか。	<ul style="list-style-type: none">・整備効果の高い路線や整備効率の良い路線を優先的に整備する予定でございます。
3	<ul style="list-style-type: none">・無電柱化後、電線が架線されている箇所がある。・電線や電柱を増やさない運用が大事である。	<ul style="list-style-type: none">・道路法に基づく電柱の占用制限は、町田市地域防災計画における啓開道路を対象とし検討を進めてまいります。
4	<ul style="list-style-type: none">・無電柱化するにあたり、低コスト化手法の検討・導入に併せ、工期短縮を可能とする新技術の積極的な活用をお願いしたい。	<ul style="list-style-type: none">・低コスト化手法には、従来より管路を浅く埋設する方法や管路管理マンホールの個数を減らす方法などがあります。・これらの手法は、工期短縮にも寄与します。
5	<ul style="list-style-type: none">・無電柱化の推進に当たっては、各地域の自主防災組織との情報共有にも留意していただきたい。	<ul style="list-style-type: none">・広報まちだや市ホームページ、工事説明会などを通じて、引き続き、情報共有、情報提供を図ってまいります。
6	<ul style="list-style-type: none">・P2「計画の位置付け」について、関連計画内の上位や下位の優先順位や関係性が理解しやすい図表で明示してほしい。	<ul style="list-style-type: none">・ご指摘を踏まえ、「計画の位置付け」の図表を見直しました。

	意見の概要	市の考え方
7	・無電柱化のメリットのみが記述されており、デメリットも明記しないと、公平な判断ができないのではないか。	・「第3章 無電柱化の現状と課題」において、整備期間の長期化、高額な整備費用、地上機器の設置場所について、課題を記載しております。
8	・電線共同溝から個人宅地への引き込み工事は、個人の費用負担は生じるのか。	・無電柱化工事の際は、個人の費用負担は生じません。 ・無電柱化後においては、敷地内の引込み工事は個人負担であると、電気・通信事業者から伺っております。
9	・効果的な整備の選定にあたり、歩道の有無、歩道の広さ、地下埋設管の多さをどのように評価し、選定したか明確にすべきである。	・歩道の有無、歩道の広さ、地下埋設物の多さなどの現地の状況を把握した上で、推進計画の策定を進めております。
10	・既設の道路では、応急処置として電柱の耐震・耐風補強工事が必要ではないか。	・ご意見については、電柱の各管理者にお伝えいたします。 ・電柱は国の基準に従い、風圧や気象の変化などの影響を考慮し、倒壊のおそれがないよう、安全なものであると、電気・通信事業者から伺っております。
11	・道路法に基づき新設電柱の占用を制限する措置については、無電柱化優先整備路線①～⑩のどれに該当するか示した方が分かりやすい。	・道路法に基づく電柱の占用制限について、町田市地域防災計画における啓開道路を対象に検討します。
12	・貝がら公園通りは12m以上の幅員がないため、無電柱化推進計画から外れたのか。	・効率的な整備では、幅員12m以上の道路を選定しています。 ・貝がら公園通りは、無電柱化検討路線として抽出された、町田市地域防災計画における啓開道路や町田市バリアフリー基本構想における主要駅周辺的生活関連経路などの位置づけがございません。

13	<ul style="list-style-type: none"> ・貝がら公園通りは、幅員10.2mしかない道路であるが、道路構造を工夫し、無電柱化できないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貝がら公園通りは、無電柱化するに必要な歩道幅員が不足しているため、地上機器を設置する用地の取得など、道路構造の基準を満たす必要があります。
14	<ul style="list-style-type: none"> ・近い将来、家庭用の重力発電機が販売される。購入すると、電気は無料になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関連する技術的動向やご意見については、今後の参考にさせていただきます。